

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年1月1日～2023年3月31日の間に、炎症性ラトケ嚢胞のために虎の門病院間脳下垂体外科に入院し、経鼻的手術を受けられた方

【研究課題名】

炎症性ラトケ嚢胞の病態解析

【研究の目的・背景】

ラトケ嚢胞は胎生期の遺残組織から発生する嚢胞性病変です。視神経や下垂体などが近くに存在するため、視力視野障害や内分泌機能障害を呈することがあります。その中でも下垂体茎や嚢胞壁、下垂体へ炎症が波及しているものは炎症を伴うラトケ嚢胞であり、その臨床的な特徴や一般的なラトケ嚢胞との違いに関してはまだはっきりとは分かっておりません。本研究においては、炎症性ラトケ嚢胞における視機能障害や内分泌機能障害などの臨床像、画像所見、経鼻手術後の転帰などを検討することによって、その特徴を明らかにすることを目的とします。

【研究期間】

2023年10月20日 ～ 2024年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、CT/MRI画像データ、薬歴、看護記録

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：間脳下垂体外科 ・ 西岡 宏

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年1月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

電話 03-3588-1111(代表)